

令和5年度（2023年度） 今治北高校大三島分校 シラバス

教科	地理歴史	科目	日本史 A	学年	第 3 学年	類型	Ⅱ 型理系
単位数	2 単位	教科書	高等学校 改訂版 日本史 A（第一学習社）				
補助教材							

学習目標	我が国の近現代の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付け、現代の諸課題に着目して考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。
------	--

学期	月	単元	学習内容・単元の目標	定期 考査
1 学期	4月	第1章近代国家の形成と国際関係の推移 第1節 近代への胎動	・江戸時代の日本の対外関係について理解する。 ・江戸時代後期に、国学や洋学をはじめさまざまな学問・思想が花開いたことを理解する。 ・幕末の幕藩体制の動揺と諸藩の改革について理解する。	中間考査
	5月	第2節 開国と幕末の動乱	・開国に至る経緯と、幕府の対応について理解する。	
	6月	第3節 近代国家の形成	・明治政府の中央集権化及び藩閥専制の傾向に対し、自由民権運動がおこり、国民の政治的関心が高揚し、憲法制定や国会開設に至る一連の動きを理解する。	期末考査
	7月	第4節 対外関係の推移と近代産業の発展	・初期の外交政策は、欧米に対しては不平等条約の改正をめざし、アジア諸国に対しては強硬な態度で臨んだことを理解する。	
2 学期	8月			中間考査
	9月	第2章 両大戦をめぐる国際情勢 第1節 第1次世界大戦と日本	・第一次世界大戦に日本が参戦した意図や、第一次世界大戦を通しての日本の外交方針について理解する。 ・第一次世界大戦を通じて民主主義的な風潮が高まるなかで、さまざまな社会運動が活発になったことを理解する。	
	10月	第2節 第2次世界大戦と日本	・世界恐慌による資本主義諸国の経済危機について理解する。 ・軍部台頭の過程と、これにともなう政治的な状況の変化について理解する。 ・中国・アメリカを中心とした国際関係の変化にも着目しながら、太平洋戦争に至る過程と経過を理解する。	
	11月	第3章 現代の日本と世界 第1節 日本の再出発 第2節 独立後の政治と経済の発展	・主権回復後の日本国内の政治推移、外交関係の確立について理解する。 ・高度経済成長の実態と、その歴史的意義について理解する。 ・冷戦の終結後の世界情勢と、国内的な55年体制の崩壊について理解する。	期末考査
	12月			
3 学期	1月	第3節 現代の日本と世界	・現在の日本が抱える諸課題について、さまざまな面から理解する。 ・高度経済成長期において、科学技術の発達、産業構造の変化、消費の拡大など、これを機におきた変化について理解する。 ・経済発展の一方で、さまざまな社会問題があったことを理解する。	学年末考査
	2月	・自宅学習		
	3月			

学習の方法	・講義型の授業を中心としたうえで、動画や画像などの資料を活用する。 ・グループワークやペアワークの時間をとり、生徒が主体となって考える時間をつくる。
-------	---

評価の観点	① 関心・意欲・態度	② 思考・判断・表現	③ 資料活用・技能	④ 知識・理解	⑤
評価の観点	近代史を中心とする我が国の歴史の展開に対する関心と課題意識を持ち、意欲的に追及するとともに、国民としての自覚と国際社会に主体的に生きる日本人としての責任を果たそうとする態度を持っている。	近代史を中心とする我が国の歴史の展開から課題を見だし、日本史的視野に立ち我が国を取り巻く国際環境などと関連付けて多面的・多角的に考察するとともに、国際社会の変化を踏まえ公正に判断する力を身に付けている。	近代史を中心とする我が国の歴史の展開に関する諸資料を収集し、有効な情報を選択して活用することを通して歴史的事象を追及する方法を身に付けるとともに、考察した過程や結果を適切に表現することができる。	近代史を中心とする我が国の歴史の展開についての基本的な事柄を、世界史的視野に立ち我が国を取り巻く国際環境などと関連付けて理解した上で、その知識を身に付けている。	
評価方法	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・定期考査				